

兵庫保険医新聞

第1544号 発行所 兵庫県保険医協会
2008年1月5日 〒650-0024 神戸市中央区海岸通1丁目2-31
神戸フコク生命海岸通ビル5F ☎078-393-1801
(1部350円送料共・年間購読料12,000円)
振替01190-1-2133
(会員の購読料は会費に含まれています)

県医師九条の会 井筒和幸監督講演会

9条は平和の「護り屋」

「憲法9条には、権力者が戦争を起ささないよう、念入りに、念入りに『戦争はあかん』と書かれている。これが平和の『護り屋』の役割を果たしてきた。九条の会・兵庫県医師の会の講演会「平和憲法でええねん」(12月16日・兵庫県農業会館)で、映画監督の井筒和幸氏は、平和憲法の役割をこう解き明かした。この日は、在日コリアンの歴史的背景と戦後の生活を描いた井筒監督の最新作「パッチギ! LOVE&PEACE」の上映も行われ、医師、歯科医師、医療関係者や市民ら320人が参加。ユーモアも交えながら語った井筒監督の平和への思いと人間愛に、参加者らは万雷の拍手で感動と感謝の心を表した。



平和への熱い思いを語った井筒和幸監督

1・17 阪神・淡路大震災 メモリアル行事のご案内

- ◆大震災13年交流会
「大震災13年 被災者の今を語る」
16日(水)18時30分～ 神戸市勤労会館4階
- ◆大震災13年・ながたメモリアルウォーク
17日(木)9時30分～ 長田民商事務所集合
- ◆市民追悼のつどい
17日(木)10時～12時 神戸市勤労会館3階
- ◆大震災13年メモリアル集会
17日(木)13時～17時 神戸市勤労会館7階
講演「災害復興支援」
「地震活動期の日本列島と原発」

詳細は、☎078-393-1803 高山まで

景品付クイズハガキ 新行革プラン反対署名



ぜひご協力を!

後期高齢者医療制度について考える「景品付クイズハガキ」のご活用と、マル老やマル乳などを削減する県新行革プランの反対署名にご協力ください。

「パッチギ!」制作の背景について井筒監督は「日本の植民地化で、朝鮮から連行された人たちが在日コリアンだという事実を今の若者は知らない。先の戦争で、いかに日本が朝鮮やアジアの人たちの人権を踏みにじり、苦痛を与えてきたか、ありのままを知らせてなかった」と思いを語った。

同時に井筒監督は「氾濫する戦争美化映画や戦争を娯楽として見せる映画に對抗し、目をそむけたくないような、戦争の本当の過酷さを描きたかった」と紹介。「戦争で死んでいくのは若者。軍隊はあくまでも国家体制を守るためのものであり、決して国民を守ってはいけない」と強調し、「軍隊や戦争の実態は本当に悲惨なもの。想像力をふくらませ、憲法9条を盾に、戦争に導く動きを止めよう」と訴えた。

九条の会・兵庫県医師の会を代表して永井和男兵庫医科大学名誉教授、池内春樹兵庫県保険医協会理事長があいさつ。尼崎医療生協病院の古家聖子、三木敏功医師が井筒監督へのインタビューを務めた。

姫路・西播支部は11月23日に、恒例の秋のバスツアー「サントリー工場見学と東山南禅寺、扇子作り体験」を開催。会員や家族、職員ら26人が参加した。河

姫路・西播支部 秋のバスツアー

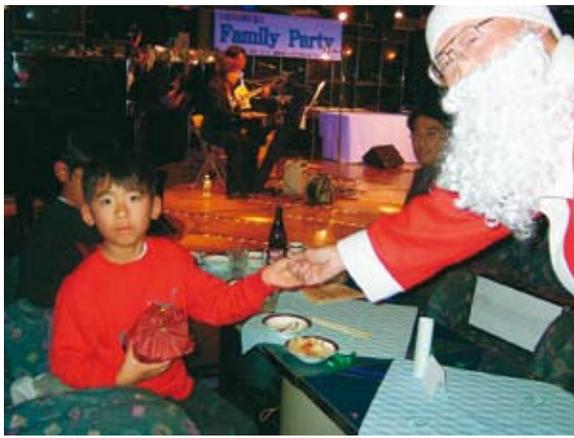
紅葉の京都を満喫

山崎蒸留所では、工場スタッフからウイスキー製造工程の説明を受けながら、数種類の形の蒸留釜や無数の樽が眠る貯蔵庫などを見学。試飲では、山崎の原酒だけで造られたシングルモルトウイスキーの洗練された味を楽し



歌舞伎「楼門五三桐」で有名な三門の前で

歌舞伎「楼門五三桐」で有名な三門の前で、紅葉の美しい境内を散策し、歌舞伎「楼門五三桐」で石川五右衛門が見栄を切る場面で有名な三門の前で記念撮影した。祇園にある舞扇堂では扇子作りを体験し、参加者はそれぞれ、個性ある世界にたったひとつの扇子の絵柄を作成した。参加者からは「紅葉がきれいだった」「扇子作りは初体験で緊張した」などの感想が寄せられた。



(上)プレゼントを抱え大森サンタが今年もやって来た (下)おいしいお酒と料理に大満足

森公一理事扮するサンタクローズがクリスマスプレゼントを手渡すと、子どもたちは大喜び。参加者からは「また来年も家族で参加したい」との声が聞かれた(参加者感想文を後日掲載)。

文化部ファミリーパーティー

家族、職員と 12月15日クリスマス

クリスマスシーズン恒例となった協会文化部主催のファミリーパーティーが、12月15日に神戸ポートピアホテルで開催され、会員と家族、職員ら59人が参加した。会場は、1980年代にディスコとしてオープンした「キノーツの間」。シックでお洒落な雰囲気

漂うなか、参加者はおいしい食事とステージ演奏、ビンゴゲームなどを楽しんだ。北井明理事の司会のもと、開会のあいさつで加藤隆久文化部長が文化部の活動を紹介し、池内春樹理事長が1年間の協会活動の労をねぎらった。芦屋を中心にライブ活動を行っているバンド「The Wood Stock」による演奏は、昔懐かしい曲がクリスマスソングに変わり、大満足

燭心

新年が始まった。そして早くもあの阪神・淡路大震災から13年がたつ。相次ぐ災害による犠牲と、全国の被災者の切実な声が、被災者生活再建支援法を改正させた。不十分な点もあるが画期的な出来事である。しかし創造的復興として、大震災を口実に無駄な大型開発とハコモノ行政には許しがたいものを感じる▼その代表格が神戸空港である。着工時の神戸市の広報には、「空港からの収益で市民生活に潤いをもたらす。公園や街の緑にも貢献する」云々。美辞麗句が並べ立ててある。実際はどうか。財政難として保育所の民営化やごみの有料化、さらには敬老バスの廃止まで市民サービスの切り捨てが並ぶ。どうなっているのか。空港建設の借金2千億円返済はまだ始まっていない。神戸市には説明責任がある▼現在問題になっている県の新行革プランとて、県民の医療福祉の切り捨て。これも財政難が原因とのこと。県が行った創造的復興事業、明石海峡大橋に象徴されるように、山を削りトンネルを掘り、橋をかけた道路を作り、さまざまの乱開発を震災復興の名の下に行う。またまた計画は膨らんでいる。使っても使っても16兆円を超える税金▼新年から不快な思い、思えば昨年を象徴する漢字として「偽」が選ばれた。何せ一国の首相が、宙に浮いた年金問題で自ら述べた公約を「思い浮かばない」と発言したとは。あきれてものが言えない。日本国憲法に「うそをついてはいけません」とでも一歩加えるか。(無)